

2019年9月14日 増床リニューアルオープン

イオンモール高岡 富山県 高岡市



2019年9月14日、イオンモール高岡が増床リニューアルオープンしました。商圏とターゲットを拡大し、圧倒的北陸 No.1 モールを目指しています。その取り組みをご紹介します。



私が案内します！
イオンモール高岡
活性化推進マネージャー
きはら ひろき
木原 弘樹さん

リニューアルコンセプト

ひえつのう
飛越能の交流拠点へ

地域の皆さまが素敵な想いでづくりと期待を超える体験が実現できるコミュニティプレイス

飛越能：飛騨・越中・能登エリアの略称

リニューアルの狙い

高岡市は、加賀百万石で有名な加賀前田藩2代当主・前田利長によって慶長14年（1609年）に築かれた高岡城の城下町です。400年にわたり銅器・漆器や菅笠（すげがさ）などの「ものづくりの技と心」を脈々と受け継ぎ、歴史・文化を色濃く残しながら、富山県西部の中核都市として発展してきました。

高岡市は、「未来高岡」総合戦略で、北陸新幹線・新高岡駅を「飛越能の玄関口」と位置付け、広域観光を推進しています。新高岡駅前敷地に増床を行う当モールもそれに共鳴し、増床コンセプトを「飛越能の交流拠点へ」としています。事務所・同友店従業員・地域が一体となって北陸No.1を宣言し、北陸最大の「ワクワク」な体験・発見があり、「きときと」*な人たちが集まる場所を目指しました。

北陸では、北陸新幹線開業を契機に2015年に北陸初のアウトレット施設となる三井アウトレットパーク小矢部、イオンモールとなみ、コストコ射水と、次々と商業施設が開業しています。さらに2019年10月には、最大の競合店である富山市内の「ファボーレ」が増床オープンしました。こうしたマーケットの活発な動きを受け、増床リニューアルで、商圏をこれまでの高岡市を中心に、車35分圏から、富山市、石川県能登エリア、岐阜県飛騨エリアまで広げ、車で60分の超広域商圏を狙うことになりました。ターゲットは、従来の30~40代のファミリー層に加えて、将来メインターゲットになる10~20代にも焦点を当て、エンターテインメント機能を強化しました。

*「きときと」とは富山の方言で活気のあるというさま

注目の専門店をご紹介します！

1F

📍 をクリックしてみてください □ 赤枠が増床部分(西館)



野外広場
「きときと広場」



大型イベントコート
「きときとコート」



T. OCUL
(ティ・オークル)



西館フードコート
「Food forest」



飛越能の観光マップ



高岡のあゆみ



杉養蜂園



伝統産業
インフォメーションコーナー

2F

📍 をクリックしてみてください □ 赤枠が増床部分(西館)



セガ
(FUN VILLAGE with トミカ)



中央吹き抜けコート
「アルミ格子装飾」

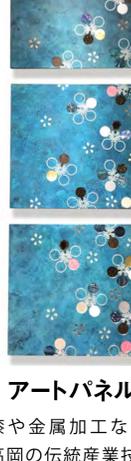


Nangja



無印良品

トイレ



アートパネル
漆や金属加工など、高岡の伝統産業技術を用いたアート



ピクトグラムサイン
高岡漆器の螺鈿青貝技法で製作されています。加賀藩をイメージした梅鉢紋や伝統紋である七宝紋、菱紋をモチーフにしています。



姿見鏡
フレームは銅板、上部飾りは漆器、下部飾りは青銅の鋳物で製作

エレベーター階段表示

高岡銅器の階数表示。青銅で鋳造して製作。表面の模様は凸状になった部分を研ぎ出して金属の素地を出しています。



地域との連携

ものづくりの町、高岡の魅力が満載

今回の増床リニューアルでは、ものづくり400年の歴史を誇る高岡の素晴らしさを伝えるさまざまな取り組みを行いました。昨年4月に「高岡伝統産業会議」をスタート。地元商工会議所や伝統工芸高岡銅器振興協同組合をはじめとする5つのものづくり団体を巻き込み、館内各所に伝統技術を用いた空間演出や装飾をしています。

なかでも「きときと広場」に設置した巨大な鋳物の「ゆめみらいモニュメント」は、市の教育委員会を通じて市内の小学生に呼びかけ、240名の子どもたちが「夢」を描いた絵が並んでいます。また、地元の著名人（高岡市の高橋市長、高岡商工会議所の川村会頭、老舗鋳物メーカーの能作克治氏（能作社長）、滝田洋二郎氏（映画監督）、登坂絵莉氏（レスリング選手）、モーリー・ロバートソン氏（タレント））にもご協力いただきました。



ゆめみらいモニュメント



モニュメント鋳造の様子

メッセージ



イオンモール高岡
ゼネラルマネージャー
すがお けいじろう
菅尾 圭二郎さん

鮮度を保ち続ける努力を惜しまず 圧倒的北陸 No.1 モールに！

コンセプトに掲げたように、「飛越能の交流拠点」として商圏を確実に広げていきたいと考えています。そのためには、高岡市の2倍の人口を擁する富山市のお客さまに足を運んでいただかなければなりません。エンターテインメントの充実や北陸初の専門店、高岡の地域性を生かした店づくりなど、ハード面が整いましたので、超広域商圏を取り組むことは実現できるはずで。

11月に全館グランドオープンを迎え、今後は2020年春に食物販の「たかおかマルシェ」のオープンが続きます。一連のオープンが落ち着いた後も鮮度を保ち続けるために、地域性にこだわった策を打っていきたくと考えています。そして、A+モールとして、圧倒的北陸No.1モールへと進化させていきます。



イオンモール高岡事務所の皆さん



モール一丸となって圧倒的北陸No.1を目指します！